

生活困窮者が悲鳴

5/6 旗

全国青年司法書士協議会（水谷公孝会長）が4月27日行った「全国一斉生活保護110番」。寄せられた相談は385件に上り、生活保護基準引き下げと消費税増税が多くの生活困窮者の暮らしを脅かしている実態が、明らかにになりました。

生活保護110番

基準引き下げ・消費税増税が圧迫

「生活できない。生活保護を受けられるか？」（神奈川県男性76歳）、「3月末に解雇され、親はいるが援助してもらえない。家賃の支払いも大変。生活保護の申請をし

たい」（広島県女性）など生活保護を利用していない人からの相談は、保護申請に向けた相談が多かったです。

は生活できない。生活保護を受けられるか？」

ありました。

保護利用者は、昨年8月、今年4月と2回にわたる保護基準引き下げ

全青司の担当者、広瀬

隆さんは「保護基準引き下げと消費税増税、さらに物価上昇で保護利用者はトリプルパンチ。不安を訴える声が多かった」と話しています。

「妻と2人暮らし。妻の年金とパート収入で月13万円だが、それだけで

「妻と2人暮らし。妻の年金とパート収入で月13万円だが、それだけで

「税金が上がり、生活

「税金が上がり、生活